

# 橋ときわっ子

— やればできる みかけば光る 一歩でも前進 続けて 続けて —

学校だより第15号  
令和5年12月6日  
武雄市立橋小学校  
校長 坂井 文明



学校教育目標 「生きる力を身に付け、学校・家庭・地域の思いを受け継ぐときわっ子の育成」

☆学力向上 ☆官民一体型学校づくりの推進 ☆ICT活用教育の推進 ☆コミュニティ・スクールの導入促進

## もうすぐ冬休み

早いもので、もう師走、12月です。教師だけでなく、子どもたち、ご家庭、地域とともに走り抜けた感覚があります。これまでのご支援・ご協力誠にありがとうございます。

さて、もうすぐ冬休みですが、この2週間が大切な期間です。楽しい冬休みを迎えるためにも、大きなけが、ましてや交通事故に合わないよう、また、友だちとのトラブルや問題行動を起こさないよう、気をしっかり引き締めて過ごしてほしいと思います。

地域の方から、「あいさつや返事は、良くできるようになった。」とお褒めの言葉をいただいています。寒さが増してきていますが、ポケットから、手を出して、心から元気よくあいさつや返事を継続してほしいと願っております。集団登校については、寒くなり時間差が生じています。同じ班なのに、早く行く人と遅く行く人が、100m程離れていることもあるそうです。いろいろな事情がある場合もあるかと思いますが、班長さん副班長さんのリーダーシップのもと、安全確保のためにできるだけまとまった登校をお願いします。

## ときわっ子活動「花の苗植え」(学校ボランティア事業)

11月15日(水)の朝の時間に、ときわっ子活動として、花の苗植え(学校ボランティア事業)を行いました。ときわ祭りに参加される方々やお世話になった地域の方々に感謝の意を表すことが目的です。ときわっ子グループで、プランター3つにパンジーやピオラの花苗を植えました。朝と夕方にときわっ子グループで水やりをしています。



## ときわ祭り

11月25日(土)に、育友会主催で、親子のふれあいを目的として、「ときわ祭り」を開催しました。母親部、研修部を中心に事前より、何回も会議をもち、計画を立てていただきました。コロナ禍により、4年ぶりの開催で、もちつきノウハウに戸惑うこともありましたが、もちつきに必要な道具及び知識の協力があり、見事実現できました。もち米を準備するのは、5年生を中心に、当日は、お母さんを中心に蒸す⇒つく⇒切る⇒まるめるがとてもスムーズにできました。つき手のお父さんも家庭や地域での経験を活かし、こねる⇒かえす⇒つくの連携プレーが見事でした。当日、寒さが心配でしたので、一斗缶手作り焚火コンロを準備し、暖を取る+3年生が収穫した芋を焼く計画していましたが、たくさんの方の協力を得て、焼き芋もすべてなくなりました。ゆとりもち、きなこもち、あんこもちなど、自分の好きなもちを食べる子どもたちは、満面の笑みでした。5年生も収穫した喜びを味わっていました。事前の準備から当日まで、数々のご協力・ご支援誠にありがとうございました。さすが、学校と共にある地域、橋町です。



## 感謝の会

ときわ祭りでもちつきを堪能した後は、14時から「感謝の会」でした。生活科や総合的な学習の時間、学校行事等で関わっていただいている地域の方々に感謝の気持ちを伝え、郷土を愛する心を育てることが目的でした。計画集会委員会が司会をして、各学年から感謝の言葉とプレゼント渡し、鼓笛の演奏と合唱を行いました。

橋小学校では、花まるタイム、田んぼの学校、営農教室、芋づくり、昔遊びなど、多くの教育活動を地域の方々に支えていただいております。交通指導や防災学習でも地域の方々に安全を見守っていただいております。ここ3年間は、コロナ禍で制限がありましたが、5類感染症へ移行したことにより、感染症防止対策を取りながらですが、合同体育大会、相撲大会、そしてときわ祭り、感謝の会が実施できたこと大変ありがたい気持ちでいっぱいです。ささやかではございますが、感謝の会で児童及び職員の感謝の気持ちを汲み取っていただければ幸いです。

